

# 【武蔵嵐山ラベンダーハイキング】

2022年6月18日(土)

## ■往路

| 乗車・乗換駅  | 発時刻       | 着時刻    |
|---------|-----------|--------|
| 草加(館林)  | 7:18-7:28 | ¥168   |
| 新越谷/南越谷 | 7:44-8:05 | ¥396   |
| 北朝霞/朝霞台 | 8:10-8:12 | ¥597   |
| 志木      | 8:17 8:56 | ¥1,168 |
| 武蔵嵐山    | 1:38      |        |

## ■コースタイム(標準の1.15倍)

| チェックポイント     | 時刻    | 所要時間 |
|--------------|-------|------|
| 武蔵嵐山駅        | 9:15  | -    |
| 巖島神社/菅谷公園    | 9:43  | 0:28 |
| 千手堂(アンモナイト等) | 10:12 | 0:28 |
| 春日神社         | 10:41 | 0:28 |
| 大平山山頂179m/四阿 | 11:15 | 0:34 |
| 山の神          | 11:27 | 0:11 |
| 展望台          | 11:50 | 0:23 |
| 与謝野晶子歌碑      | 12:01 | 0:11 |
| 昼飯           | 12:46 | 0:45 |
| 塩沢冠水橋        | 12:58 | 0:11 |
| 飛び石橋         | 13:15 | 0:17 |
| 槻川橋          | 13:32 | 0:17 |
| ラベンダー園       | 14:24 | 0:51 |
| 千駒橋          | 14:33 | 0:09 |
| 二瀬橋          | 14:46 | 0:12 |
| 嵐山史跡博物館      | 15:26 | 0:40 |
| 武蔵嵐山駅        | 15:49 | 0:23 |
| 所要時間合計       |       | 6:34 |

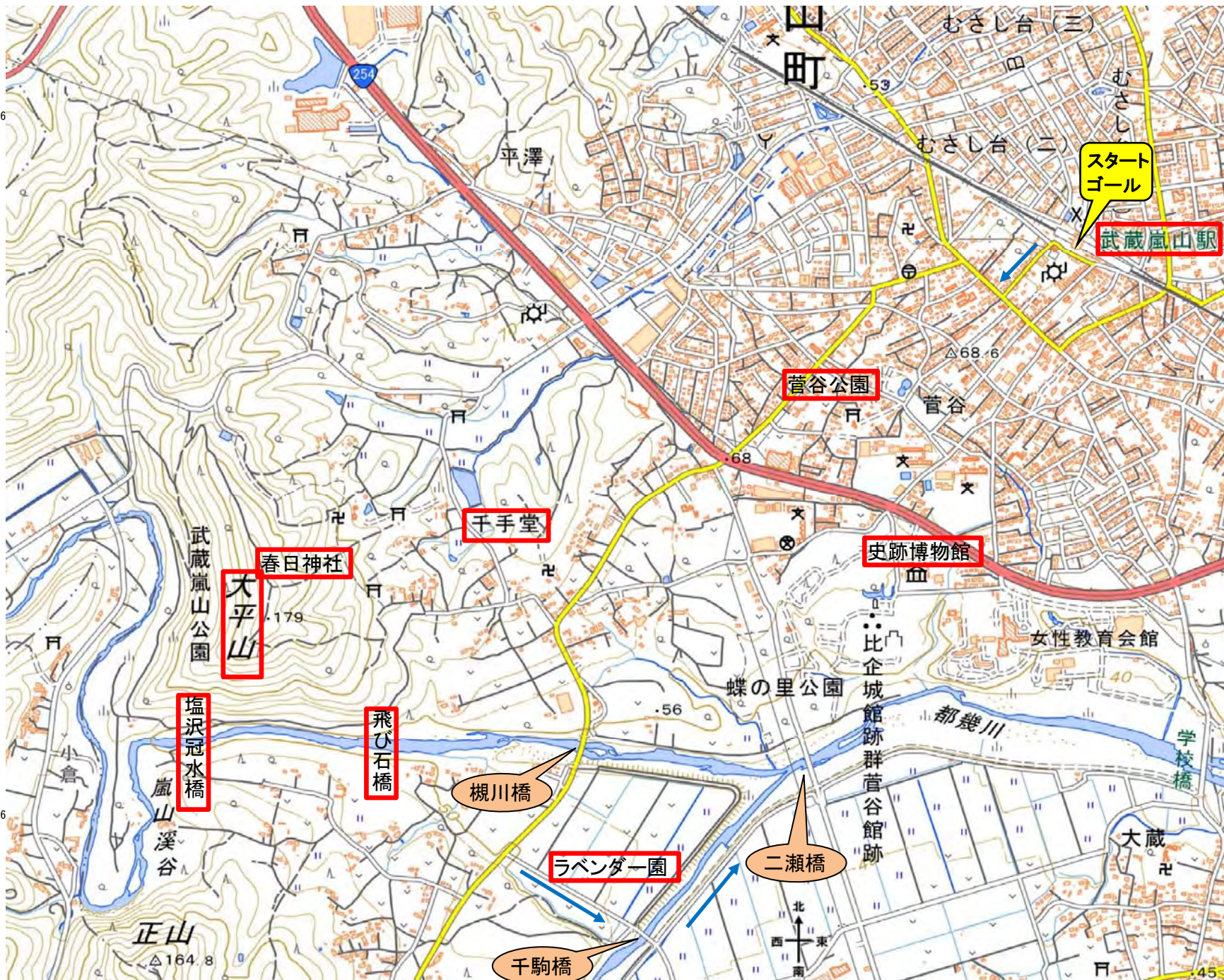
## ■復路

| 乗車・乗換駅  | 発時刻         | 着時刻    |
|---------|-------------|--------|
| 武蔵嵐山    | 16:07-16:58 | ¥597   |
| 朝霞台/北朝霞 | 17:03-17:25 | ¥396   |
| 南越谷/新越谷 | 17:33-17:38 | ¥168   |
| 草加      | 1:31        | ¥1,168 |

交通費: 2,322円

●参加者: 16名

高橋・大畑・中島・鶴田・森・秋山  
 高原・青木・小倉・北爪・西山・森岡・  
 篠岡・小野寺・角田・  
 桜井リーダー



## 武蔵嵐山

「嵐山溪谷はその地形的な特徴から、秩父の長瀬岩畳に例えて“新長瀬”と呼ばれていたこともあるように、ある槻川橋より溪谷と周辺の紅葉や赤松林の美しい景観を眺め、京都の嵐山の風景によく似ているとのことで、“武蔵国の嵐山（むさしのくにのあらしやま）”と命名されたということです。

それが大変評判になり、多数の観光客が訪れます」。与謝野晶子もここを訪れて「比企の溪」を歌い、歌碑が建っています。

## アンモナイト

民家の石垣にある。下の方にアンモナイトがありますので探してください。

## 太平山 179m

大平山頂上が嵐山町の最高地点、頂上には大きな御神木と祠があります。頂上の展望はよくありませんが、方位を示す立派な台があるので昔は見晴らしがよかったのかもしれませんが。

## 与謝野晶子の歌碑

“東京大神宮”のそばには、“与謝野鉄幹・晶子夫妻の居住跡”がある。現在その屋敷はなく、樹木が数本立っただけとなっている。鉄幹・晶子両氏とも、近代短歌に大きな影響を与えた人物である。

晶子の『みだれ髪』は学校の授業にも出てきたし、テレビ番組「知っているつもり」でも取り上げられていたのを覚えている。

『源氏物語』の現代語訳者とも知られ、角川クラシック文庫で読むことができる。そんな晶子も、埼玉を訪れ詠んだ歌がある。それは比企郡嵐山。槻の川比企判官の地を選びわれ五月雨を聞く如きかな、假初めに更け假初めに明るる夜の秩父の水の鳴る枕かな、山がらすみをつくし立ち橋寫る菅谷の淵の上に朝鳴く晶子の 24 冊目にあたる歌集『白桜集』に、「比企郡菅谷を今人武蔵嵐山と云ふ」の詞書とともに、上の歌が収録されているという。

## 千年の苑ラベンダー園

鎌倉武士の鑑とまで讃えられた畠山重忠公の居住していた菅谷館跡から見下ろせるこの地は、木曾義仲公生誕の地の近くでもあります。冷酷な面を持つ源氏一族の中でも純粹で素直な心を持つといわれている木曾義仲公、剛勇かつ公正であり優しい人柄といわれている畠山重忠公は、乱世を望まず穏やかな世の中の実現を真に願っていたに違いありません。当時から約千年の時を経た現在、この思いを込めた美しい地を創るという意味をこめ「千年の苑」という名称を付けました。

らんざんラベンダーまつり 2022 年 6 月 10 日(金)～6 月 26 日(日)開催中、見学料:500 円

## 嵐山史跡博物館 菅谷館跡

比企丘陵のほぼ中央、都幾川の清流を眼下に望む菅谷館跡(すがや・やかたあと)は、鎌倉時代に武蔵武士の畠山重忠が居住した所と伝えられています。

戦国時代には数度にわたる改築を受けて城郭として整備拡大したものとされます。今日見られる遺構は、戦国時代の城郭の姿を示しているものです。

昭和 48 年に国指定史跡に指定されました。平成 20 年3月には「比企城館跡群菅谷館跡」と指定名称が変更されました。

平成 29 年4月6日には、日本城郭協会より、「続日本 100 名城」に認定されました。